

被爆80年 原爆を生きた人々の心の風景を舞台に 舞台『夕風の街 桜の国』広島で上演



このたび、株式会社ONE VOW FILMS JAPAN（ワンバウプロデュース）は、東京を拠点とする劇団“STRAYDOG”と共同で、舞台『夕風の街 桜の国』広島公演を開催する運びとなりました。

本作は、こうの史代氏による同名漫画を原作とし、「あの日」からの時間を生きた人々の想いを、世代を超えて描いた作品です。広島との記憶と未来をつなぐこの舞台は、多くの方々にとって特別な意味を持つ公演となることでしょう。

本公演は、今後、広島における「平和の象徴的舞台」として定着させることを目指しており、今年の公演はその大切な第一歩となります。

"語り継ぐことの意味" — 被爆80年の節目だからこそ実現する意義

2025年、広島への原爆投下から80年という節目の年を迎えます。被爆体験者の方々の高齢化が進む中、私たちはこの記憶を次世代へと継承する新たな方法として、舞台芸術が果たす役割に大きな意義があると考えています。今回の公演では、広島ゆかりの役者を中心に出演者を構成し、地元との深い結びつきを大切に作品創りを目指しています。

『夕凧の街 桜の国』

『夕凧の街 桜の国』について

「原爆を描いた作品ではなく、原爆を生きた人々の物語」文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞、手塚治虫文化賞短編賞をはじめ数々の賞を受賞した本作は、直接的な被爆描写ではなく、原爆と共に生きた人々の「その後の人生」を静謐な筆致で描き、国内外で高い評価を得てきました。映画化され多くの感動を呼んだ『夕凧の街 桜の国』が、今回初めて被爆地・広島



概要とスケジュール

- ・ 作品名：舞台『夕凧の街 桜の国』
- ・ 主催：株式会社STRAYDOG PROMOTION / 株式会社ONE VOW FILMS JAPAN
- ・ 会場：広島県民文化センター
- ・ 公演日程：2025年8月2日（土）～3（日）
- ・ 原作：この史代『夕凧の街 桜の国』（コアミックス）
- ・ 脚本・演出 森岡利行

“STRAYDOG”公演には肥後克広、広島県出身の西脇彩華、國森桜（劇団4ドル40セント）、池田裕楽（STU48）が出演予定



『夕凧の街 桜の国』への思い

2025年は昭和100年、戦後80年の節目の年でもあります。本作は原爆投下から10年経って亡くなってしまった若い女性を描いています。そんな悪魔のような原爆を戦争の過去の悲惨な記憶のひとつにせず、同じ過ちを二度と繰り返さぬよう、広島在住の方々を初め、県外の老若男女、インバウンド等、幅広い人々の心に残る公演にする所存です！



脚本・演出：森岡利行

2025年、被爆から80年。

語り部が少なくなる今、次の時代を生きる私たちが「語り継ぐ」覚悟を持つべき時だと感じています。

舞台という空間で、身体を通して伝える言葉や感情が、観る人の心に残り、未来へと繋がっていく——それが私たちの表現のかたちです。

ワンバウプロデュースは、広島で懸命に活動する役者や表現者たちの想いを集め、

『夕凧の街 桜の国』を広島を象徴する舞台作品へと育てていきます。

一度きりではなく、文化として根づかせることを目指して。

この挑戦に、どうか皆様のお力をお貸しください。



ワンバウプロデュース
プロデューサー：源秋策

被爆80年 記憶の継承を舞台で

【ワンバウプロデュース】

私たちワンバウプロデュースは、2025年8月に広島で上演予定の舞台『夕風の街 桜の国』の実施に向け、広島県内の芸能事務所やタレント、広島にゆかりのある役者たちと共に作品づくりに取り組んでおります。

これまで、2024年8月に上演した1stプロデュース作品『幸せになるために』、2025年3月上演の2ndプロデュース作品『母の桜が散った夜』と、2つの舞台を試練を乗り越えながら成功へと導いてまいりました。

そして今回、広島を象徴する作品としての定着を目指し、節目の年である「被爆80年」のタイミングに上演する『夕風の街 桜の国』に挑みます。

地域に根ざした文化創造、そして次世代への継承を目的とした本プロジェクトに、ぜひ取材・報道のご協力を賜れますと幸いです。



1st Produce
『幸になるために』



2nd Produce
『母の桜が散った夜』

取材のご案内

各メディアの皆様には、この意義深い試みを広く伝えていただきたく、積極的な取材をお願い申し上げます。以下のスケジュールで取材を承りますが、個別のご要望にも柔軟に対応いたします。

今後の主なスケジュール（予定）

- ・2025年4月12日（土）オーディション（@広島市内）
- ・2025年4月26日（土）顔合わせ・記者会見
- ・2025年4月27日（日）稽古開始
- ・2025年5月11日（日）ダンス稽古
- ・2025年6月21日（土）～22日（日）集中稽古
- ・2025年7月27日（日）STRAYDOG合流
- ・2025年7月28日（月）集中稽古
- ・2025年8月2日（土）～3日（日）本番

取材可能なタイミングについては個別にご相談も承ります。

ぜひご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 稽古場風景、出演者・スタッフインタビュー等、さまざまな取材機会をご用意しております。

※ 被爆者団体や平和記念資料館との連携企画も進行中です。

つきましては、貴社に本公演についてぜひご取材いただきたく、何卒ご検討くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

株式会社ONE VOW FILMS JAPAN

代表：源 秋策（みなもと しゅうさく）

mail： minamotono.s@onevowfilms.com

Tel：08038922007



ワンバウプロデュース
プロデューサー：源秋策
1992年10月5日広島県生まれ



こねこフィルムVol.16
『ハチロク』



株式会社ONE VOW FILMS JAPANの代表、ショートドラマこねこフィルムではプロデューサーを務める、こねこフィルムでは原爆をテーマにした企画「ハチロク」を制作。ワンバウプロデュースでは地方都市広島のエンタメ創出を目指す一方で、同時に舞台『夕風の街桜の国』を半永久的に全国の児童や観光客に向けて上演することで広島舞台の【シンボル】となることを目指す。

<報道関係の方からのお問い合わせ先> 株式会社ONE VOW FILMS JAPAN

代表：源 秋策（みなもと しゅうさく） mail： minamotono.s@onevowfilms.com